

地域とつながる「くらしの相談所」

～住民への健康相談支援の取り組み～

タイコー堂薬局本店

合田 学

【目的】

保険薬局には、地域住民が気軽に健康相談に立ち寄れる役割が求められているが、まだ認知されていないのが現状である。そこで、地域医療・介護を支える多職種と連携し、地域住民が気軽に立ち寄れる対話の場「くらしの相談所」をタイコー堂薬局本店内に開設した。そこで行っている「健康相談会」「講演会」「勉強会」などの取り組みについて報告する。

【方法】

2016年12月～2017年6月に、タイコー堂薬局本店内に「くらしの相談所」を開設した。薬局利用者や地域住民に対し、薬局内にて「健康相談会」を行い、その中で骨密度・血管年齢測定なども実施した。併せて、地域のイベントにて出張型の「相談会」を開催した。「相談会」の中で、地域住民から要望のあったものについて、多職種と連携し、「講演会」を開催した。地域の医療職や介護職との連携を促進するため、ケアマネージャー、栄養士など多職種を対象に「勉強会」を開催した。

【結果】

「健康相談会」をタイコー堂薬局本店にて計36回実施し、参加者総数は186名、地域イベントにて計6回実施し、参加者総数は441名であった。参加者からは「残薬管理について」「薬の服用の必要性について」などの薬に関する事、それに加え、「楽しく運動したい」など健康に関する相談があった。「講演会」では「笑いヨガでリフレッシュ」「ランチを食べて食育を学ぼう」などをテーマに計28回実施し、参加者総数は178名であった。また、「勉強会」では「地域の医療・福祉の専門職」「地域活性化ミーティング」などをテーマに計8回実施し、参加者総数は70名であった。

【考察】

「くらしの相談所」は、多くの地域住民が、健康に関する相談に立ち寄ることができる場として寄与できた。また、地域医療・介護を支える多職種と連携し、地域住民の健康に関する相談に応えることで、地域医療に貢献できたと考える。今後もこの取り組みを継続していく。